

第1回陽だまり～touch A LIFE～(H29.4.28)ふいかえい



テーマ：大刀洗町にある“地域資源”について

地域資源とは・・・

その地域に元々ある行事や活動。例えば、祭り、左義長、堂籠りなど。この地域資源は、その地域に住んでいる人たちにとっては、あたりまえであっても、他の地域の人には知られていないことが多くあります。

■ 守 部 ：堂籠り、竹灯籠 他

老人クラブでさつま芋を育て、子ども会と一緒に芋掘りをしている。堂籠りに子どもも参加し、焚火で焼き芋にしている。餅配りは子どもの役割。

■ 山 隈：よど、奉納相撲、初詣、獅子舞 他

幼少期のお宮での思い出が残っている。今は、お宮行事に自分の子どもが参加している。

■ 北鷺木：夏祭り、左義長

「子どもにふるさとの思い出を残してあげたい」と、青壮年部が中心となり、様々な企画を行っている。区内はアパートが多く、区や子ども会にも入らない人がいるが、逆に、所属しない人のお手伝いも増えている。

■ 西栄田：堂籠り 他

子ども見守り隊の活動時に「今日、ダッチオープンで芋を焼くけん、おいで。」と声掛けをしたところ、堂籠りに参加する子どもが増えた。声掛けすることが大事。

■ チャレンジ教室

- ・10年ほど前、チャレンジ教室立ち上げ時に関わっていた。大刀洗を離れるときに「この活動が続いていたらいいな」と思っていた。(大刀洗に帰ってきて)今、自分の子どもも「チャレンジ教室に参加してみようかな?」と言っており、親の立場でボランティアとして参加する側になったなと思っている。
- ・子どもの頃に参加。同学年だけでなく、他学年と交流し、コミュニケーションの勉強にもなった。また、地域の人ともつながりを持つことができた。

■ 地域の居場所

- ・自宅で小学生を対象に、参加自由な“寺子屋”を開催。「宿題早く終わらせて遊ぼう」をモットーにしている。
- ・“寺子屋”のように、自由に参加できる居場所が必要。以前、大刀洗で地域おこし協力隊をしていた人から「いなぎの縁側BOOK」というパンフレットをもらった。ここに掲載されているような活動を、まずは気のあう人と寄り合って始められたらいいなと思っている。
- ・区によっては、行事がないところもあるが、気軽に参加できる場があればいい。そういう機会を大人が作っていくことも大事。

【よいところ】

- ・子どもや地域とのつながりができる
 - ・子どもの頃の経験が大人になっても残る
- ★子どもを巻き込んで、
これからも続けていきたい

一方で

【課題】

- ・若い人の参加が少ない
 - ・担い手不足、高齢化
- ※老人クラブ活動も同様

これからは・・・

- ◇ もともとあった地域資源を大切にしつつ、新たなもの(“あったらいいな”というもの)をつくっていく
- ◇ できる人ができるときに参加できるゆるやかな結束の組織が大事【自由参加】
→「組織」に縛られず、楽しいから参加したいと思えるようなことをやっていく
- ◇ 気軽に集まれる、安心できる和やかな雰囲気居場所が必要



お知らせ

<森さんより>

5/27(土) 18:30～ ^{ベグ}PEGコンサート

於：ひょうたん村(大刀洗町山隈 1543-21) 入場料¥1,500

<三原さんより>

6/3(土) 18:00～ ホタル祭り

於：三川 佐田川沿い